

総務部長の仕事宣言！ 進行管理表

総務部長 野田 寿

①リープロの名称	市民に信頼される市役所づくりプロジェクト
②目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災訓練回数 24回/年 ・職員研修受講者数 1,000人 ・実質公債費比率 現状維持(11.5%)
③今年度の目標	<p>①災害発生時の各種マニュアルや業務継続計画の整備を行う。また、町区単位と並行して地区単位での防災訓練も実施していく。</p> <p>②基本的には職員研修プログラムに沿って、内部、外部研修を含め、職階に応じた研修を実施していく。また、普通救命講習、認知症対策講座、女性対象にキャリアアップ研修を行い、新規にセクハラ防止研修を追加する。</p> <p>③財政運営について将来の歳入、歳出及び地方債管理の見通しを立てながら、新規・既存事業の費用対効果、必要性の検証を行っていく。</p>
④上半期の取組内容	<p>①業務継続計画について、8月説明会を開催し、9月は各課に災害時に対応すべき業務の分析調査を行わせた。また、自主防災訓練については、現在までに8町区で実施している。</p> <p>②職員研修プログラムに沿って、9月までに普通救命講習、認知症対策講座を含む32種の内部、外部研修を実施し、延べ435人が参加した。</p> <p>③財政計画について各課ヒアリングを行った。</p>
⑤下半期の取組内容	<p>①業務継続計画策定は、各課との最終調整のうえ3月に完了。また、自主防災訓練は、10月以降8町区で実施した。</p> <p>②職員研修プログラムに沿って、25種の内部、外部研修を実施した。本年度新たに女性のキャリアアップ研修、セクハラ防止研修を実施した。</p> <p>③財政運営については、将来の財政見通しを立てながら、予算編成に当たった。</p>
⑥数値目標の結果	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災訓練回数16回/年 ・職員研修受講者数1,008人 ・実質公債費比率 10.2%
⑦成果と課題 (次年度に向けて)	<p>①防災関係マニュアルの整備を引き続き行う。自主防災訓練は、自主防災組織を中心に来年度も町区に実施を促していく。</p> <p>②職員研修について、来年度の効果的な新規メニューを検討していく。</p> <p>③財政運営は、将来負担となる各事業費の精度を高めることで見通しを立て、持続可能な財政運営に努める。</p>

◇副市長の指示

上半期

- ・業務継続計画については、今年度中の整備に向け、鋭意取り組むこと。
- ・職員研修については、職員に求められる資質の向上に合う研修内容となるよう、随時見直ししていくこと。

下半期

- ・職員研修については、職員に不足している能力や今後必要とされる能力・意識を具体的にピックアップし、重点的に取り組んで行くこと。
- ・財政運営については、予算編成の在り方を見直すこと。新たな取組にチャレンジする風土や既存事業の効果を検証する習慣を根付かせるためにも、重点分野の設定、サンセット予算方式などの導入を検討し、仕組みづくりを行うこと。